



# The World Situation

## まずは現代の国際情勢からレッスン

「世界の動きを知る」のが平和について考える第一歩なのはわかっているけれど、では具体的に何を読み解き学べばいいのか。世界をフィールドに活躍する識者の方に、教えていただきました。



©UN Photo/Free & Equal



©UNHCR/S.Baldwin



©UNICEF/PPDTokyo2015

1 国連が熱心に取り組むことのひとつが、ゲイなどの性的少数者、LGBTの権利。「調査会社によると、日本の5%の600万人がLGBT。横浜市の人口より多いのです」。2 ヨルダンの難民キャンプで避難生活を送るシリアからの家族。3 3月に潘基文国連事務総長が訪日。UNICEF親善大使を務める黒柳徹子さんと交流し、平和の尊さをうたえました。

ひとりひとりが自由に発言できて、自分らしく生きられることが本当の平和といえると思います。



講師

**Kaoru Nemoto**

根本かおるさん  
【国連広報センター所長】

Profile

ねもと・かおる ●コロンビア大学大学院で国際関係論を学ぶ。国連難民高等弁務官（UNHCR）事務所勤務などを経て、多くの人に国連の役割を伝える現職に就く。

心まで満たし健やかに暮らせるのが平和

今まで、紛争や迫害で故郷を追われ、難民キャンプで暮らす人と接する機会が多くありました。自らに起こった災難と折り合いをつけ前を向く彼らの姿を素晴らしいと思いつつ、彼らの心の落ち着きのなさを感じました。もう爆弾を落とされるこ

報道や趣味を通じて世界を積極的に知る

では私たち日本人に何ができるかという、世界を知ること大事にしてほしい。気になるニュースを掘り下げてほしいです。アラブ料理を作ってみ

とはないにしても、故郷を失った悲しみなどで心は満たされない。そこから私は、平和とは単に暴力や戦争がない世界ではなく、健康であるとか、言いたいことを言えるなど、健やかな生活を自分らしく営めることを意味すると考えるようになりました。戦争までは至っていません。特定の民族が憎まれ排除される。このように人の心を傷つける状況も、平和ではないと思います。

るとか、アラブ人が働いているレストランに行っているのか聞いてみるとか。無関心から始まる偏見や先入観が、ある民族を排除したり、多くの人が亡くなっても無関心

でいられるなど、平和を脅かすいちばんの敵だと思うのです。

さらに、ニュースで報道される数を、日本に置き換えて考える癖をつけてほしいです。例えば、今シリアでは約1200万人が家を追われていると言われています。人口の2人に1人が避難生活をして

しているわけで、日本に置き換えると約6000万人です。おのずと、いかに深刻なのか実感できるのではないのでしょうか。そして、彼らの生活はどんななのか、想像力をふくらませてほしい。そうすることで、つらい状況にある人たちに共感する力が鍛えられ、それが平和のためのアクションにつながると思っています。

### CHECK!

- 無関心は平和の最大の敵。世界を知ることが日頃から心がける。
- 世界の紛争を日本に置き換えて考えてみる。そうすることで、紛争地への共感が養われる。

### 戦地で生きる人も家族の絆や日常が大切

内戦時代のルワンダからシリア、イラクまで、激戦地を中心におよそ130もの国々で撮影を続けてきました。そして、現地で会った人に必ず問うのが、幸せとは何か。すると、かなりの割合で「今やりたいことをできること」という答えが返ってきます。そこから私は、平和とは「やりたいことができる日常があること」だと考えるようになりました。なぜ、私が戦場の写真を撮り続けるのか。それは、戦場下の人たちは私たち日本で暮らす人たちと変わらないということ、皆に知ってほしいからです。多くの人が、家族で団らんを楽しみながらご飯を食べて川の字で寝る、という日常を大切にしている。もちろん戦争をしたいわけでもない。でも、家族を守るためであれば何でもする。このような思いで生きているのです。

やりたいことを自由にできる日常が平和だと思います。

戦場写真から考える平和



講師

**Yoichi Watanabe**

渡部陽一さん  
【戦場カメラマン】

Profile

わたなべ・よういち ●大学生時代から、世界の紛争地域を専門に取材を続ける。紛争地での家族の絆や生活、そして戦争の犠牲者はいつも子どもであるということを伝えていきたいと話す。



イラクでは、敵国同士である米軍兵士とイラクの子どもたちが、笑顔で交流しているシーンに出会いました。この米軍兵士には故郷に同じくらいの年齢の子どもがいるらしく、すごく優しく接していた。子ども好きの米軍兵士がたくさんいたことに驚きました。